

第2回豪雪対策本部会議 議事録

日時：令和7年1月9日（木）17：00～17：40

場所：西棟8階 889会議室

○統括調整部副部長（危機管理局次長。以下「司会」）

ただいまから、令和7年青森県豪雪対策本部の第2回本部会議を開催いたします。本日は各部局長に加え、青森地方气象台、陸上自衛隊第9師団、青森河川国道事務所、東北電力ネットワーク様に御出席いただいております。

はじめに、今冬の豪雪にかかる被害状況等について、資料1により統括調整部から説明いたします。

○統括調整部長（危機管理局長）

統括調整部長の豊島です。それでは、資料1です。豪雪にかかる被害の状況等についてです。この資料は、あくまでも1月9日本日9時現在のものにして、そういったことについて御理解いただきたいと思います。

2枚目のスライドです。積雪の状況ですが、積雪深は多くの地点で平年を大きく上回っています。後ほど、气象台の方から詳しく御説明いただきたいと思います。

3枚目のスライドです。被害状況となります。

まず人的被害について、お亡くなりになられた方6名、それから重傷27名、軽傷64名など、全体で98名の死傷者が出ております。死亡の要因は、いずれも屋根の雪下ろし作業に伴うものです。

4枚目のスライドお願いします。住家被害です。半壊1件、一部損壊7件の、計8件確認されています。

5枚目のスライドお願いします。非住家被害です。全壊14件、半壊9件、一部損壊7件の、計30件確認されています。これらは冒頭で申し上げたとおり、今朝把握しているものでして、市町村の調査によって今後順次明らかになるものと考えています。

そして6枚目のスライド、ライフラインの状況になりますが、まず通信はKDDIさんの鱈ヶ沢の一部地区で通信障害が発生しております。復旧作業中です。電気につきましては、こちらに書かれている平川市の約10戸については、復旧済みです。ただし、現在黒石市約400戸、それから平川市約700戸の停電が発生しています。このことについて東北電力さんから補足があればお願いいたします。

○東北電力ネットワーク青森支社（奥崎副支社長）

16時現在、黒石市、平川市合計1,080戸が現在停電中です。現地に作業の者が行き、故障箇所の探査及び復旧作業に当たっているところです。また並行して、岩手県、秋田県、宮城県にある弊社の事業所から応援のため電源車11台が青森県内へ向かっている最中です。到着次第、順次つなげて停電の解消に努めてまいります。

また、本日より来週いっぱいので、ラジオによる緊急スポット放送を予定しています。

具体的には、「大雪の影響により電線が切れたり、垂れ下がったりしている場合は大変危険であるということから、絶対に触らないで、東北電力ネットワークコールセンターへお知らせください」という内容となります。以上、補足いたします。

○統括調整部長（危機管理局长）

はい、ありがとうございます。なお、黒石市及び平川市に対しては、避難所の準備などについて、我々の方からお願いをしているところです。

続きまして 7 枚目のスライドになります。交通の状況です。まず、奥羽本線につきましては、大館～弘前間が 1 月 11 日始発からの運転再開を見込んでいます。他の JR 在来線関係の記述はないですが、大湊線が日中運休しており、こちらは 16 時に運転再開しております。

それから、青い森鉄道ですが野辺地～上北町間が運休しておりましたが、16 時以降発の列車から再開しております。それから、バスについては、こちらに記述の路線がそれぞれ一部迂回運行を行っているところです。

続きまして 8 枚目のスライドです。農林水産部関係ですが、農作物被害としてりんご枝折れ 5 市町、それから農業関係施設被害としてパイプハウス 21 棟、農業用倉庫 1 棟、それから畜産関係施設被害として牧草保管庫 1 棟、それぞれ確認されているところです。

最後 9 枚目のスライド、県及び市町村の本部設置の状況ですが、市町村にあっては 17 市町村が対策本部などの体制を取っているという状況です。以上です。

○司会

続きまして、気象の見通しについて、青森地方気象台から説明していただきます。よろしくお願ひします。

○青森地方気象台（佐々木観測予報管理官）

青森地方気象台の佐々木です。気象台からは雪の状況と今後の天気の見通しについて説明します。青森県では 12 月から 1 月 8 日にかけて冬型の気圧配置となる日が多く、これまでの降雪量と最深積雪は平年より多く、かなり多くなっているところもあります。左上の図は降雪量の分布図ですが、青森、弘前、碓ヶ関などでは 300 センチを超えています。平年に比べて 2 倍程度多くなっているという状況です。それから、その下の図は最深積雪の分布になります。これまでで一番雪が深かった値を示しています。青森 139 センチ、弘前 115 センチ、五所川原 107 センチとなっていて、平年の 3 倍程度となっています。

それから右のグラフになりますが、こちら青森（気象台）の日別の降雪量になります。縦軸が降雪量（センチ）となっています。横軸が日付となっていて、12 月の下旬頃から量が増え始め、特に年末年始は降雪 20 センチ前後の日が続きました。それからその下の図が積雪の状況を示しています。降雪が増えた年末から積雪が多くなっており、現在、平年の 2 倍程度の積雪量となっています。

それからそのグラフの点線（ピンク色）は平年値を示しており、積雪がピークとなるのは 2 月上旬となっています。1 月下旬は一年で最も気温が低い時期となりますが、今後は平年よりは気温が高めで推移する見込みです。

2 枚目のスライドお願ひします。今後の見通しですが、まず明日にかけての見通しです。左

側は今日の夜 21 時の予想天気図、それから右側は明日の夜 21 時の予想天気図になります。明日にかけて、冬型の気圧配置が続きます。その中で気圧の谷が今日の夜、北海道付近で明瞭になり、その後南下し明日の日中に青森県付近を通過する見込みです。そのため、津軽を中心に 10 日朝から夜遅くにかけて警報級の大雪となるおそれがあります。大雪による交通障害、屋根からの落雪、建物やビニールハウス等への被害に注意・警戒してください。また、電線や樹木への着雪、積雪の多い傾斜地では雪崩にも注意してください。さらには、吹雪や吹きだまりにも注意していただきたいと思います。

予想降雪量になります。今日 9 日 18 時から明日 10 日 18 時までには予想される 24 時間降雪量は津軽の山沿いで 50 センチ、津軽の平地で 40 センチ、下北の山沿いで 15 センチ、下北の平地で 15 センチ、三八上北の山沿いで 30 センチ、三八上北の平地で 20 センチを見込んでいます。

3 枚目のスライドをお願いします。向こう 1 週間の天気の見通しです。冬型の気圧の配置は長続きしません。低気圧や気圧の谷の影響を受けて、雪や雨の降る日が多く、気温は平年より高く経過する見込みです。そのため、降雪量は多くなると見えています。

4 枚目のスライドをお願いします。向こう 1 か月の見通しになります。今日、1 か月の天気予報が発表になりました。東北日本海側（津軽・下北）では平年に比べ曇りや雪の日が少なく、冬型の気圧配置が長続きしないことから、寒気の影響も受けにくくなる見込みです。このため、降雪量は平年より少ないというところで見えています。气象台からは以上です。

○司会

続きまして、青森河川国道事務所から、自治体との連携除排雪について御説明いただきます。

○青森河川国道事務所（阿保道路担当副所長）

国道交通省青森河川国道事務所です。国土交通省としての取組の内容について御説明させていただきます。

まず、自治体との連携除排雪ということで、資料をお配りしておりますが、こちらについては後ほど御説明があります資料 2 の 8 枚目に関連する資料になります。

1 月 7 日に、青森県と国土交通省で、「豪雪対策に関する連絡調整会議」を開催しまして、そこで申し合わせた事項を記載させていただいている資料になります。2 の①に、国からの支援例があり、内容は市道等の雪を国道に掃き出し、国が手配したダンプトラックでの運搬排雪を行うものになりますが、こちらの補足資料、イメージ図になります。

お配りしている資料のイメージ図に示しているのは、国道での排雪作業、また市道等での除雪作業の連携を図り、市道等で雪を国道に掃き出していただいて、国で手配したダンプトラックで排雪する形で作業を行う。そういった形で市町村への支援を行うものです。なお、現在、青森市と実施に向けた日程を詰めているところです。決まりましたら、お知らせさせていただきます。

また、資料 2 の 3 枚目に除排雪支援可能リストということで取りまとめたもののうち、左下に国土交通省からの支援可能な除雪関係機材の一覧を載せていただいております。現時点での可能台数を東北地方整備局でまとめており、除雪機械、トラック合わせて 15 台程度可能

となっております。なお、オペレーターの有り無しがありますので、詳細は県の道路課と今後共有して、市町村への支援に繋がりたいと考えておりますので、よろしくお願ひします。

また、黒石市と岩木川ダム統管理事務所の間で、ロータリー除雪車1台を14日からお貸しするという話を進めています。日中のみの貸し出しとなりますが、そういった情報もお伝えさせていただきます。青森河川国道事務所からは以上です。

○司会

続きまして、現状の課題と対応につきまして、資料2により、関係部局から説明いたします。まず、県土整備部長お願ひします。

○県土整備部長

県土整備部です。お手元の資料2の2枚目のスライドから順次御説明させていただきます。

まず、前回からの動きといたしまして、宮下知事による現地視察の状況について御報告させていただきます。1月7日、前回6日の記者会見で公表しております、支援を予定している黒石市それから弘前市のそれぞれ市道と県道について、知事及び県土整備部、危機管理局による現地視察を行っております。また、昨日8日には、青森市内の県道青森環状野内線、それから市道の里見丸山線につきましても、14日から応援ダンプの受入を予定しているところですが、こちらについての視察を行いまして、道路の状況、周辺の状況等の確認を行ったところでは、

続きまして、3枚目のスライドを御覧ください。こちらは昨日1月8日時点の市町村の除排雪において、支援が可能な機材のリストです。まず、訂正を1点させていただきます。資料右下の部内・他部局等からの支援の1つ目の黒丸、雪捨場候補地の面積が185.6万㎡と書いてありますが、18.56万㎡、18万5,600㎡の誤りでございました。訂正の方お願ひしたいと思います。

では、説明に戻ります。生活道路等の除排雪がなかなか進んでいない状況を踏まえまして、県では、比較的雪が少ない地域からの支援を念頭に、県の建設業協会、それから市町村及び国土交通省東北地方整備局の方に呼びかけをいたしまして、除雪のための機材、もしくは、排雪のためのダンプトラック等について、支援可能な台数をピックアップしているところでは、

昨日の時点で建設業協会からは、上北・三八・下北及び西津軽郡エリアの支部からダンプトラック77台、除雪機械7台、また、市町村からは、八戸市、むつ市等から、合計ダンプトラック120台、除雪機械31台、また、国道交通省からは、先ほど青森河川国道事務所から御説明ありましたように、こういった資機材について、地整管内から御支援をいただけるということでいただいております、先ほど合計15台程度という話をいただきまして、合計国の15台も含めまして、166台程度、支援が可能な最大の数として現在確保できているところでは、

また、先ほど訂正いたしました、雪捨場、それから、排雪等のダンプトラック等を展開するにあたって、駐車場の確保が必要になってまいりますけれども、こちら県庁内の各部局に呼びかけをさせていただきます、県関係の施設の場所といたしまして、現在、雪捨場計20

箇所 18.56 万㎡、ダンプトラックの駐車場候補地として合計 294 台分ということで、現状、後ほど御説明いたしますが、各市町村から順次受援を要請いただいているものに対して、それを上回る規模で確保ができているという状況です。今後更なる要請があることも踏まえて、さらに働きかけを進めてまいりたいと思っております。

次に 4 枚目のスライドを御覧ください。1 月 6 日の第 1 弾の支援マッチングの結果といたしまして、青森市及び黒石市の調整をさせていただいておりますが、その後の調整を踏まえまして、本日追加で第 2 弾ということで整理をさせていただいております。

この表の見方は、右側の支援チーム、主に下北・上北・三八エリアからの建設業協会の各支部から、津軽エリアの受援要請のあった市町村に 10 トンダンプトラック、もしくは、4 トンダンプトラックについて、それぞれ派遣を予定しているというものです。今回、左側の赤枠のところです。第 2 弾と書いてあるところで、新たに青森市に追加の派遣、それから、新たな自治体として、板柳町、鱒ヶ沢町、田舎館村に、それぞれ各支部からのダンプトラックの応援をいただけるということで、関係者の皆様におかれましては本当にありがとうございます。

また、記載はありませんが、その他、弘前市からの要請をいただいております。現在、台数の確認等を含めまして調整を行っているところですので、調整が整い次第、次の支援を計画しているところです。

次、5 枚目のスライドお願いいたします。5 枚目、6 枚目のスライドは道路の地図を載せておりますが、県と市町村の道路除排雪の役割分担ということで、御説明させていただきます。

5 枚目のスライドは青森市内の中心部の説明です。この図面に載っているもののうち、黒色が国直轄の管理で、水色が高速道路、NEXCO 管理となっております。それ以外のオレンジとか緑とか茶色が付いているところが、県管理の県道及び国道となっております。これらの道路について、現在、私ども県の方で除排雪の方をしっかりと前倒しで進めていく方向でやっております。また、色の付いていないその他の道路については市町村の管理ということになりまして、その市町村の取組について先ほどの資機材の応援を実施していきたいと思っております。

6 枚目のスライドが弘前市でございます。色については同様になっておりまして、こちらも主要な幹線につきましても、国及び県が管理していて、その他の幹線道路や生活道路については、市道となっておりますので、御理解いただければと思います。

続きまして 7 枚目のスライドです。県管理道路における対応状況です。県管理道路につきましても、特に東青・中南・西北の管内において、非常に積雪しているという状況です。そういった中で、一定の道路通行が可能な状況はできておりますが、一部において、路面の状況が良くないところ、もしくは排雪の作業を今進めておりますけれども、まだ時間がかかる場所がありますので、その排雪作業の実施ということで、下は一例ですけれども、東青管内、中南管内などにおいて、排雪作業の開始時期を前倒しするなどして、随時計画的、また迅速な排雪作業を実施してまいりたいと考えております。

また、除雪排雪等を行った後も、事後のパトロールで現場の状況を確認することが大事になってまいりますので、県職員による事後のパトロールの徹底を図ってまいります。

また、3 つ目といたしまして、例年実施しております新学期始業前の学校周辺の除排雪に

つきまして、学校関係者との情報連携を更に強化して、その情報を踏まえて、適切に対応してまいりたいというふうに考えております。

次8枚目のスライドを御覧ください。こちらは国との連携体制強化についての説明です。一昨日1月7日に国土交通省と青森県において豪雪対策に関する連絡調整会議第1回を開催しました。こちらは知事から国土交通省東北地方整備局及び国土交通本省に支援の要請をしたことを受けまして、国土交通省からの呼びかけで開催になったものでして、その中でこの1, 2, 3と囲んである3つの項目について、国と県の間で申し合わせをしたということで、一昨日プレスリリースさせていただいているものです。

先ほど1つ目については、青森河川国道事務所から御説明もあったところです。今後、この内容を踏まえまして、国、県、それから市町村及び関係業界としっかり連携をして、課題の解消に向けて取り組んでまいりたいと考えているところです。

続きまして。9枚目のスライド、広報についてです。前回本部会議での指示を受けまして、現在、青森県ホームページに雪害対策除排雪関連状況の特設ページを開設しております。また、青森県と青森県道路課の公式Xにおきまして、SNSによる通行規制情報と除排雪に関する情報を随時発信しておりまして、これら2つを連動して、引き続き県民の皆様への情報発信に努めてまいりたいと考えております。

次10枚目のスライドです。昨年会見で公表いたしました地図形式での青森県排雪予定マップでは、県管理道路等についての、排雪の情報について公表しておりますので、引き続き、情報の更新、充実を図っていくとともに、問い合わせ窓口についてもホームページで公表しておりますので、しっかり連携して取り組んでまいりたいと考えております。

最後11枚目のスライドです。その他の対応といたしまして、青森県堤ふ頭の用地を除雪しまして、除排雪支援用ダンプトラック40台分の駐車場を確保するとともに、所管する公共施設についての被害状況の確認、あるいは、必要に応じて復旧等の取組をしてまいりたいと考えております。

また、資料には記載ありませんが、年末年始駐車場が混雑いたしました青森空港につきましては、現在、年末年始の帰省等のシーズンを超えましたので、今のところ駐車場の満車等の状況は発生しておりませんが、引き続き安定した運行に向けた活動、それから駐車場の台数確保のための除排雪を必要に応じて適宜実施してまいりたいと考えております。県土整備部からは以上です。

○司会

続きまして、健康医療福祉部長お願いします。

○健康医療福祉部長

災害救助法の適用について御説明します。適用日に関しましては、令和7年1月4日の土曜日となっています。適用の市町村に関しましては、10市町村となっており、青森市、弘前市、黒石市、五所川原市、平川市、藤崎町、大鰐町、田舎館村、板柳町、鶴田町となっています。今回想定される救助の種類に関しましては、避難所の設置、障害物の除去、特に倒壊のおそれがある住家等の除排雪が対象となります。その他、災害ボランティアセンターの運営・調整といったところも対象となります。

今後の当面の対応としましては、県内消防本部に対し、災害対応の徹底、今後の広域応援対応を想定した備え、消防団と連携した積極的な活動について、周知依頼を行っているところです。

また、国・県・適用市町村による情報共有のための打ち合わせ等も開催予定です。以上です。

○財務部長

県及び市町村の除排雪経費に係る財源確保に向けて、現場の対応を踏まえ、国への緊急要望を行うことで現在調整しているところです。以上です。

○交通地域社会部長

昨日、弘前市が災害ボランティアセンターを設置しております。それを受けまして、本日、青森県防災ボランティア情報センターを設置しております。青森県防災ボランティア情報センターでは、弘前市のセンターとの連絡調整、県民及び報道機関への情報提供などを行うことを考えています。以上です。

○農林水産部長

被害が想定されるものとしては、ビニールハウスの倒壊、りんごの枝折れで、これが今後も拡大していくことが懸念されます。これまでに臨時農業生産情報を発表し、注意喚起を図ったほか、巡回調査を実施しております。今後さらに被害を拡大しないため、関係団体と連携し、雪害対策の巡回指導を実施します。それから、必要に応じて臨時農業生産情報を発表し、注意喚起を図ってまいります。被害状況の調査につきましては、引き続き情報収集に努めますが、まだ園地までたどり着けないところもありますので、詳細については雪解け後になることが想定されます。以上です。

○教育部長

学校周辺の通学路について、昨日、各市町村教育委員会及び各県立学校に対し、学校周辺の通学路の状況を1月10日までに点検の上、状況によって道路管理者へ除排雪を依頼するよう伝達しております。以上です。

○司会

ここまでの説明につきまして、御質問等ございますか。続きまして、小谷副本部長から伝達事項があります。お願いいたします。

○小谷副本部長

知事の公務につきましては、既に豪雪対応が中心となっているところです。今後の知事の公務のうちイベント等につきましては、当面代理での対応や、出席を控えさせていただくといった対応を基本とさせていただきたいと考えておりますので、本部員の皆様におかれましては、この点について御了解を願います。私からは以上です。

○司会

最後になりますが、本部長から指示事項があります。知事お願いいたします。

○本部長（知事）

引き続きスピード感を持って取組を進める必要があります。私からは以下7点について指示します。

1点目ですが、あらためて幹線道路である国道・県道の除排雪を徹底し、緊急除排雪という形で次々と実施してください。繰り返しになりますが、除排雪が入ったという場所でも、しっかりと除排雪されていない場所がパトロールをすると見受けられます。事業者任せにせず、職員がパトロールして、確実に除排雪が行われているかどうかを、路線ごとにチェックをするようお願いいたします。できていなければやり直し、何回やってもだめなら繰り返してやるということで、徹底して対応していただきたいと思います。

2点目ですが、除雪機械を確保して、市町村の連携除排雪が拡大できるタイミングになってきました。独自に除排雪できる市町村もあるようですが、こちらからプッシュ型で応援できるようにし、また、県有地のストックを活用して、雪捨て場の不足解消についてさらに取り組むようお願いいたします。

3点目は、冬休みが来週終わるとい学校が多く、児童生徒の通学がいよいよ始まりますので、子供たちが安心して通学できるように、学校周辺及び通学路について除排雪を徹底してください。各市町村教育委員会及び各県立学校に対し、学校周辺の通学路の状況を点検の上、状況によって道路管理者へ除排雪を依頼するよう周知してください。

4点目ですが、登下校時における交通事故を未然に防止するための活動を各学校で確実に実施することとあわせ、校舎からの屋根雪の落下等による事故の防止を徹底していただくようお願いいたします。

5点目ですが、災害救助法に基づいて避難所の開設など必要な対策が躊躇なく行われるように、関係市町村との緊密な連携を図ってください。

6点目ですが、やはり事故が増えてきており、特に屋根からの落雪や雪下ろし中の事故防止について、引き続き、周知・啓発に努めてください。

7点目ですが、今回は災害としての対応が必要だという認識に立って、全部局・全県民局が被害の状況の把握に努め、適切に対応してください。それに加えて、現場がどうなっているのかは足を運ばないと分かりませんので、県民局任せにせず本庁の職員も現場に行って、市町村、国の各機関と緊密に連携し、この災害を乗り越えるためそれぞれ取り組んでいただくよう指示をします。私からは以上です。

○司会

以上をもちまして、本日の会議を閉会いたします。